

須磨海岸ビーチクリーンアップに参加して

同志社大学留学生 Mohammad a Hajjaj (パレスチナ)

私の友達が、ボランティア活動として、海岸清掃に参加しようと勧めてきました。場所は、兵庫県神戸市の須磨というところ、JR須磨駅に近いところでした。私は、数人の友達と清掃するものだと思っていました。しかし、私は当日、私たちのグループだけでなく、たくさんの人たちが、このイベントに参加しているのを知りました。



右側筆者ハジャジさん
左側一対一交流ボランティア藤岡様

4月28日、須磨海岸の清掃の呼びかけに応じて、約200人のボランティアが集まりました。彼らは、さまざまなおところから、海岸線に散らかっているごみを集めるため、グループを作って集まって来ました。それぞれの団体には、女性や学生、また10歳にもならない子供たちも含まれていました。参加者は、周りの献身的な人たちの動きや情熱に触発されていきました。

集まったごみは、その種類別に、3つに分けられました。すなわち、可燃性ごみ、非可燃性ごみ、そしてたばこの吸い殻のような有害物質にでした。最後に、それぞれチェックされ、所定のところへ廃棄されました。

最初、一見したところでは、海岸はきれいなように見えたのですが、そうではありませんでした。ボランティアの人々は一生懸命に働き、砂の中や、岩の間から小さいごみやたばこの吸い殻を、ベストを尽くして集めていました。

周りには、たくさんの汚れたアイテムや散り散りのプラスチック片あるいは、犬のものとみられる、動物の汚物もありました。

主催者は、清掃に必要な機材や用具を準備していましたが、必要ならば、参加者たちは、自ら手を使ってでも作業しているほどでした。

最後に海岸は、完全にきれいになりました。私たちは、協力して作業をするという、いい経験をしました。そして、またいつか、別の場所でこのようなことが、行われることを期待しています。

それから、私たちは一緒に昼食をとりながら意見交換や歓談をしました。

